

御殿場市

御殿場口登山道

君は駆けつけたか？あの大砂走りを！

所要時間／登り▼約8時間、下り▼約4時間

山小屋の数／5軒

一步で3メートル！大砂走り

御殿場ルート下山道の七合目から太郎坊までは、厚い火山礫に覆われています。一步で3メートル余りも進み、まるで飛ぶように下ることができると大砂走りは、ほかの登山道では体験できません。御殿場市全景をはじめ、箱根連山、駿河湾、そして宝永火口を一望して一気に下る気分は本当に爽快です。これは、御殿場ルートからの下山だけで味わえるご褒美です。

皇太子殿下の御足跡を心に刻む「プリンスルート」

平成20年、皇太子殿下が富士山に初登頂されたときのルートです。富士宮口から登り始め、新六合目で富士宮口と分かれ、御殿場口の六合目から頂上へ向かわれました。登頂後は、お鉢めぐり、そして御殿場口下山道の豪快な大砂走りを

楽しみました。

高い位置から登り始めることができ、大砂走りで楽々下山：御殿場口の新しい楽しみ方の一つです。

アクセス／

鉄道・バス

JR御殿場駅から登山バス（路線バス）

車

御殿場口新五合目まで、「富士山スカイライン」（無料）

駐車場／御殿場口新五合目に500台

※御殿場口ではマイカー規制を実施しません。

問い合わせ／御殿場市商工観光課

☎0550(82)4622



御殿場口山内組合長 福島 邦彦さん

御殿場口は、数ある登山道の中でも一番厳しいコースだと言われています。しかし、実は初心者向きなコースです。新五合目の標高は、ほかの登山道に比べて低く、しっかりと体を慣らしてから登れば、高山病にならずに登れます。

登山計画を一日二日にして時間の余裕を持ち、おしゃべりしながら楽しく登っていただきたいです。時間があるなら断然御殿場口ですよ！

昨年の富士山の世界遺産登録は、まだスタート地点しかありません。登山客が増加する中、どのように富士山の環境を守っていくのが課題です。登山客のサポートはもちろんのこと、富士山の環境を守る手助けもしていきたいと思っています。

豪快な大砂走りと、プリンスルートのある御殿場口。ぜひ一度、御殿場口から富士登山に挑戦してみてください。

裾野市

須山口登山道

須山口登山道は、須山浅間神社を起点として、山頂部の駒ヶ岳に至った登山道です。起源は明確ではありませんが、遅くとも室町時代には使用されていたことがわかっています。

1800年のご縁年には5398人の登山者を集めました。

明治時代になって、須山口登山道の二合八

勾に合流する御殿場口登山道ができ、東海道線（現在の御殿場線）が開通すると、須山口登山道の利用者は少なくなりました。1912年には、登山道の一部が陸軍演習場になり、通行自体が困難になりました。

平成8年に須山口登山歩道保存会が発足し、翌年から平成11年にかけて、須山浅間神社から水ヶ塚公園、御殿庭を通り、富士宮口六合目に至る須山口登山歩道と、かつての須山口を利用した須山口下山歩道が整備されました。水ヶ塚公園から40分ほど歩いたところにある須山御胎内は、須山口登山道の一合目に当たり、かつては登山者を調べた須山口の役場などがありました。

問い合わせ／裾野市生涯学習課

☎0555(992)3800



▲須山御胎内（旧須山口登山道一合目）

小山町

須走口登山道

自然の息吹を感じながら歩ける樹林帯

所要時間／登り▼約5時間、下り▼約2時間40分
山小屋の数／13軒

ご来光や影富士が見やすい須走口登山道

標高の高い位置まで広がる樹林帯により、登山中の日差しを避けることができます。

樹林帯を抜けると、どこからでも、ご来光や影富士が見られます。

また、火山砂利の下山道を一直線に下る「砂走り」があります。

登山道と下山道が別で、本八合目から山頂までの区間は、山梨県

の吉田ルートと合流するた

め、混雑することがありま

す。また、樹林帯では見通

しが利かないため、夜間や

濃霧時は道に迷わないよう

に注意が必要です。

アクセス／

バス

須走口五合目まで、JR

御殿場駅などから登山バス

(路線バス)

車

須走口五合目駐車場まで

は、高速道路東富士五湖道

路の須走IC、または東名

御殿場ICから国道138

号を経て「ふじあざみライ

ン」

問い合わせ／

小山町商工観光課

☎0550(76)6114



富士山須走口山内組合長
菅沼 茂明さん

須走口は自然が多く残って

いて、緑地帯や低木、砂地な

どの変化に富んだ登山道です。

登山者は、ゆっくりと登り

たいと思っている年齢層の高

い個人客のリピーターが多く、

旅行などに比べ費用が抑えら

れるためか、家族連れも多く

見られます。

最近では、観光登山化した

ため、軽装で薄着の登山者も

多く見られます。しかし、行

程がおくられて暗くなることも

あるため、必ずヘッドライト

と上下が分かれた雨具を携行

してください(コンビニなど

の簡易な雨具は溶岩石で破れ

やすいため不可)。

週末やお盆の時期を中心に

山小屋は混雑しますが、シー

ズンに入っても予約しやすい

平日に来ていただき、時間に

余裕を持って、安全に登山し

ていただきたいと思います。

登山マナーを守り、

みんなで気持ちよい登山を

開山期間は7月10日～9月10日

ことしの富士山の開山期間は、7月10日～9月10日です。開山期間以外は山小屋が閉じているので、仮眠や休憩ができません。安全のため、開山期間内に登山をしてください。

また、開山期間内は協力金の支払いにご協力ください。協力金は1000円(任意)です。支払われた協力金は、富士山保全のために使用します。

計画を立てて登山にチャレンジを

弾丸登山を行うと、急な気圧の変化で体調を崩すなどして、登頂できないことがあります。登山経験が少ない人は、なおさらペース配分や体調管理が難しいと思われれます。余裕のある登山計画を立て、途中の山小屋で仮眠するなどして、急がず、ゆっくりと登ることを心がけましょう。一人で登る場合は、途中で助けてくれる人がいないため、いざ辛い状況に陥ったときには打つ手がなくなることがあります。なるべく2人以上で登山しましょう。

開山期間中はマイカー規制を実施

富士宮口と須走口の五合目駐車場付近では、夏期の登山シーズンに登山客や観光客が集中し、交通渋滞が発生しています。このため、渋滞を緩和して、富士山への来訪者の安全と快適性の確保、富士山の自然環境の保全のために、マイカー規制を実施しています。富士宮口は63日間、須走口は40日間です。規制中は各登山道までバスやタクシーをご利用ください(14ページ参照)。